

健康福祉部

生活福祉課

障がい者支援課

高齢者支援課

健康課

1 民生委員・児童委員

(1) 構成人員

地区名	人員数(人)
秋川第一地区	21
秋川第二地区	25
五日市地区	24
合計	70

(2) 民生委員・児童委員活動状況

内 訳		件 数	
相談・支援	内容別	在宅福祉	82
		介護保険	81
		健康・保健医療	86
		子育て・母子保健	113
		子どもの地域生活	104
		教育・学校生活	312
		生活費	107
		年金・保険	12
		仕事	14
		家族関係	73
		住居	18
		生活環境	30
		日常的な支援	180
		その他	696
	合計	1,908	
	分野別	高齢者に関すること	742
障がい者に関すること		100	
子どもに関すること		680	
その他		386	
合計	1,908		
その他の活動	調査・実態把握	788	
	行事・事業・会議への参加・協力	2,523	
	地域福祉活動・自主活動	1,578	
	民児協運営・研修	3,216	
	証明事務	152	
	要保護児童発見の通告・仲介	38	
訪問活動	訪問・連絡活動	8,271	
	その他	2,907	
連絡調整回数	委員相互	4,866	
	その他の関係機関	4,455	

※ 相談・支援件数は、1人の相談者から複数の相談を受けた場合、内容別に記載している。

2 社会を明るくする運動

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、毎年7月を強調月間とし、罪を犯した人や非行に陥った少年たちの更生や犯罪の防止について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動である。

市では、保護司が中心となり、市内小・中学校、町内会・自治会、民生児童委員協議会、更生保護女性会等の協力により、市内4駅で広報活動を実施した。

駅頭広報活動（平成28年7月4日実施）

実施場所	東秋留駅	秋川駅	武蔵増戸駅	武蔵五日市駅	合計
参加人員（人）	54	78	46	50	228

3 社会福祉法人指導検査事業

(1) 所轄法人の状況 (単位：法人)

合計	社会福祉協議会	1施設のみを運営する法人	複数の施設を運営する法人
12	1	5	6

(2) 認可等事務状況

定款変更	12件
------	-----

(3) 指導検査実績 (単位：件)

	検査件数	うち都との同日検査	文書指摘あり
一般検査	7	5	0
特別検査	0	0	0
合計	7	5	0

4 生活資金貸付（貸付限度額1件80,000円）

貸付件数	金額（円）
12	790,000

5 菅生交流会館の利用状況・使用料

開館日数	施設区分	利用件数	使用料			
			徴収分		減免分	
			件数	金額（円）	件数	金額（円）
359	ホール	24	5	15,000	19	66,500
	会議室	13	1	3,000	12	29,000
	和室	1	1	900	0	0
合計		38	7	18,900	31	95,500

6 受験生チャレンジ支援貸付事業

受験生チャレンジ支援貸付事業は、東京都の低所得者・離職者対策事業で、学習塾等の受講費用及び高等学校、大学等の受験費用に対し、一定所得以下の世帯に必要な資金の貸付けを行うことにより、子どもたちの学習意欲をサポートする事業であり、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会への委託により実施した。

内容	内訳	件数
学習塾等受講料貸付	中学3年	30
	高校3年	9
受験料貸付	中学3年	15
	高校3年	13
合計		67

7 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業は、生活保護に至る前の段階で包括的な相談支援を行うことにより、相

談者の自立の促進を図ることを目的としている。相談窓口では、就労を始めとする生活上の相談支援を行う自立相談支援事業と、離職者であり就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失又は喪失するおそれのある者を対象とした住居確保給付金支給事業を実施しており、更に平成28年度から家計面から生活再建の検討が必要な者を対象とした家計相談支援事業を実施した。

(1) 月別生活困窮者自立相談状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
初回相談件数	9	13	10	20	16	12	8	15	8	17	13	26	167
継続相談件数	34	36	40	41	41	44	36	36	33	30	33	32	436
合計	43	49	50	61	57	56	44	51	41	47	46	58	603

(2) 主な相談経路

相談経路	件数
直接来庁・電話	116
市役所他部署からの紹介	20
ハローワーク	8
社会福祉協議会	5
民生委員・児童委員	8
その他	10
合計	167

(3) 主な相談内容（新規相談：複数回答）

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康、障害に関する事	46	債務や税金、公共料金等の支払いに関する事	55
住まいに関する事	23	地域・家族との関係に関する事	25
収入、生活費に関する事	93	子育て・ひきこもり等に関する事	9
仕事探し、就職に関する事	52	その他	100

(4) 住居確保給付金

世帯区分	支給対象者数（人）	金額（円）
単身	4	537,000
複数	2	231,000
合計	6	768,000

(5) 就労支援

（単位：人）

支援対象者区分	就労支援者数	就労決定者数
自立相談支援対象者	32	12
住居確保給付金対象者	5	5
合計	37	17

(6) 家計相談支援事業

（単位：人）

家計相談支援対象者数	支援終了者数	継続相談支援者数
13	7	6

8 福祉サービス連携推進会議

あきる野市地域保健福祉計画に基づく福祉サービスの連携及び推進を図るため、あきる野市福祉サービス連携推進会議を設置した。

平成28年度は、昨年度に作成した緊急対応マニュアルの修正と事例集の作成に取り組んだ。

(1) 推進会議メンバー

健康福祉部長（議長）、子ども家庭部長（副議長）、障がい者支援課長、高齢者支援課長、健

康課長、子ども政策課長、子育て支援課長、保育課長及び生活福祉課長

(2) 会議開催状況等

開催日	内容
平成29年 2月 3日	「緊急時の対応マニュアル」の修正及び事例集の作成について協議
3月	「緊急時の対応マニュアル」改訂

9 秋川ふれあいセンターの指定管理者による管理

秋川ふれあいセンターについては、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会を指定管理者として指定し、管理運営を委託している。

(1) 指定管理者 社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会

(2) 指定の期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで

(3) 施設利用状況

開館 日数	施設区分	利用件数	利用人数	使用料	
				徴収分(円)	減免分(円)
334	第1会議室	262	1,801	95,000	528,000
	第2会議室	191	1,379	23,500	516,500
	第3会議室	233	1,710	129,500	549,500
	寿の間	311	6,268	339,300	796,500
	ふれあい ホール	347	19,821	1,036,325	3,501,255
	備品	29		58,000	0
	合計	1,373	30,979	1,681,625	5,891,755

10 臨時福祉給付金給付事業

消費税率が5%から8%に引き上げられたことに伴う低所得者への負担を緩和するための暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金と、「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者、障害・遺族基礎年金受給者を対象とする年金生活者等支援臨時福祉給付金を支給した。

区分【給付金額】	申請人数	却下・取 下げ人数	給付人数	給付額(円)
臨時福祉給付金 【3,000円】	10,356	48	10,308	30,924,000
障害・遺族年金 受給者向け給付金 【30,000円】	408	7	401	12,030,000
高齢者向け給付金 【30,000円】	6,240	55	6,185	185,550,000
合計	17,004	110	16,894	228,504,000

11 生活保護法(保護費支払状況)

区分	支出額(円)	構成比率(%)
生活扶助	458,995,778	30.25
住宅扶助	314,838,467	20.75
教育扶助	11,665,312	0.77
介護扶助	42,440,978	2.80
医療扶助	672,637,027	44.33
出産扶助	0	0.00

生業扶助	2,658,921	0.18
葬祭扶助	2,045,983	0.13
就労自立給付金	418,048	0.03
保護施設事務費	11,514,390	0.76
合計	1,517,214,904	100.00

※1 医療扶助（平成28年3月から平成29年2月診療分）の診療報酬明細書（レセプト）の
算定額677,052,743円（17,061件）、確定額667,864,190円

※2 過誤調整額9,188,553円（216件）

内訳：資格関係に関する再審査請求 6,138,343円（96件）
診療内容に関する再審査請求 3,015,150円（96件）
突合再審査件数 35,060円（24件）

12 法外援護

生活保護法による被保護世帯に属する児童及び生徒に対して、修学旅行支度金等の費用を支給し、当該世帯の児童及び生徒の健全育成並びに世帯の自立助長を図った。また、被保護者及び被保護世帯に対して、自立支援に要する経費の一部を支給することにより被保護者等の自立促進を図った。

(1) 健全育成事業

ア 修学旅行支度金

区分	人員（人）	金額（円）
小学生	8	34,400
中学生	15	127,500
合計	23	161,900

イ 学童服及び運動衣購入金

区分	人員（人）	金額（円）	
学童服	小学生	34	387,600
	中学生	30	342,000
小計	64	729,600	
運動衣	小学生	42	172,200
	中学生	36	147,600
小計	78	319,800	
合計	142	1,049,400	

ウ 夏季健全育成費

区分	人員（人）	金額（円）
小学生	44	145,200
中学生	38	125,400
合計	82	270,600

エ 自立援助金

区分	人員（人）	金額（円）
中学校卒業生	0	0

(2) 自立促進事業

内容	人員（人）	金額（円）
高齢者等生活環境改善費（居宅清掃費用）	1	270,000
高齢者等生活環境改善費（居住環境整理サポート費用）	1	25,920
住宅契約関係費（鍵交換費等）	7	111,240
学習環境整備支援費（中学3年生）	3	306,338
学習環境整備支援費（小学4年生～中学2年生）	3	198,120

精神障害者等自助グループ参加交通費	1	12,360
合 計	16	923,978

13 災害見舞金支給事務

内 訳	件 数	金 額 (円)
居宅が全壊、全焼又は流失	0	0
居宅が半壊、半焼又は床上浸水	1	10,000
死 亡	0	0
負 傷	0	0
合 計	1	10,000

14 戦没者追悼式（あきる野市遺族会と共催）

日 時 平成28年11月26日

場 所 五日市会館

参列者 103人

生活福祉課 保護係

1 生活保護法事務事業

被保護世帯数は、平成28年度末現在695世帯で、平成27年度末の679世帯と比較して、16世帯（2.36%）増加した。また、世帯人員は、平成28年度末現在995人で、平成27年度末の949人と比較して、46人（4.85%）増加した。

世帯類型では、高齢者世帯の構成比が47.19%となり、被保護世帯の高齢化が進んでいる。

(1) 被保護者の世帯・人員の状況

世帯類型	平成27年度		平成28年度		対前年度比 (%)
	世帯数	構成比 (%)	世帯数	構成比 (%)	
高齢者世帯	318	46.83	328	47.19	3.14
母子世帯	58	8.54	54	7.77	△6.90
障害者世帯	74	10.90	81	11.65	9.46
傷病者世帯	131	19.29	130	18.71	△0.76
その他の世帯	97	14.29	98	14.10	1.03
保護停止中世帯	1		4		
保護停止中人員	1		4		
世帯数合計	679		695		2.36
人員合計	949		995		4.85
保護率 (‰)	11.6‰		12.2‰		

※ 保護率：‰（パーミル）は、千分率であり、1,000人当たりの人員を示す。

(2) 月別生活保護受給状況（保護停止中を除く、現に保護を受けたもの）

月別 区分	平成28年										平成29年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
世帯数	680	685	679	681	689	687	685	694	696	693	684	691	
世帯人員	946	960	949	954	973	965	965	976	989	989	975	991	

(3) 生活保護受給内訳（年度末累計）

区 分	平成27年度		平成28年度	
	世帯数	人員 (人)	世帯数	人員 (人)
生活扶助	6,500	9,386	6,585	9,496
住宅扶助	6,685	9,423	6,749	9,483
教育扶助	676	975	718	1,058
介護扶助	1,357	1,421	1,491	1,566
医療扶助	7,232	9,637	7,082	9,293
出産扶助	0	0	0	0
生業扶助	219	220	156	158
葬祭扶助	9	9	8	8
保護施設事務費	42	42	57	57
合 計	22,720	31,113	22,846	31,119

(4) 被保護世帯の労働力類型（年度末累計）

（単位：世帯）

種 別	高齢者世帯	母子世帯	傷病障害者世帯	その他の世帯	合計 (世帯)	医療単給世帯 (再掲)
総 数	3,826	698	2,504	1,216	8,244	407
世帯主が働いている世帯	121	323	337	463	1,244	11
世帯主は働いていないが世帯員が働いている世帯	1	11	205	141	358	0
働いている者がいない世帯	3,704	364	1,962	612	6,642	396

(5) 医療扶助受給人員（病類別、年度末累計）

種 別	精 神 病	そ の 他	総 数
人 数	535	8,758	9,293

(6) 介護扶助受給人員及びサービス利用件数

月別 区分	平成 28 年									平成 29 年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人員 (人)	131	128	125	125	128	130	130	135	133	133	135	133
利用件数	347	337	330	339	345	330	341	352	345	348	391	339

(7) 医療扶助受給人員（入院・入院外別）

(単位：人)

月別 区分	平成 28 年									平成 29 年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入院	60	59	58	58	58	64	55	60	63	61	55	59
入院外	719	713	718	711	718	667	692	713	730	740	736	726

(8) 医療扶助取扱件数

要否意見書	医 療 券				施 術 治療材料	検診命令
	入 院	入院外	調 剤	歯 科		
2,546	927	12,768	10,498	2,634	55	152

(9) 保護の概要及び取扱件数

相談件数	申請受理件数	保護決定件数 (うち職権保護)	却下件数	取下げ件数	廃止件数
178	124	110	8	8	90

2 就労支援の状況

(単位：件)

就労支援員との面接・相談支援	うち生活保護受給者等就労自立促進事業要請	就労件数
49	25	13

※ 生活保護受給者等就労自立促進事業：ハローワークが実施する就労自立促進事業

3 行旅死亡人等取扱状況

葬祭を執行する者がいない又は身元が判明しない死亡人の埋火葬を市が執り行った。

区 分	件数	費用（円）
身元判明者（葬祭執行者なし）	1	146,816
身元不明者	0	0
合 計	1	146,816

障がい者支援課 障がい者支援係

1 自立支援給付事業

(1) 障害福祉サービス費

区 分	サービス名	延べ件数	延べ日数	金額 (円)
介護給付費	居宅介護	1,018	6,520	31,947,566
	重度訪問介護	142	2,041	32,591,993
	行動援護	109	643	10,069,688
	同行援護	241	898	9,803,211
	療養介護	83	2,526	20,980,500
	生活介護	1,797	34,352	378,153,632
	短期入所	860	4,089	33,143,370
	施設入所支援	693	21,057	82,936,939
	介護給付費(計)	4,943	72,126	599,626,899
訓練等給付費	共同生活援助	1,019	29,015	175,007,444
	宿泊型自立訓練	42	958	3,870,835
	自立訓練(機能訓練)	0	0	0
	自立訓練(生活訓練)	73	1,217	9,759,942
	就労移行支援	165	2,354	22,363,750
	就労継続支援A	83	1,661	10,304,288
	就労継続支援B	2,002	34,132	241,338,202
	訓練等給付費(計)	3,384	69,337	462,644,461
相談支援給付費	計画相談支援	641	0	10,194,623
	地域移行支援	0	0	0
	地域定着支援	0	0	0
	相談支援給付費(計)	641	0	10,194,623
小 計	8,968	141,463	1,072,465,983	
特定障害者特別給付費	1,616	18,950	16,017,090	
合 計	10,584	160,413	1,088,483,073	
都加算短期入所費	757	3,904	13,865,698	
都加算グループホーム費(知的・精神)	928	28,501	59,329,091	
総 合 計	12,269	192,818	1,161,677,862	

(2) 補装具費

種 目	延べ件数	金額 (円)	
児 童	装 具	71	5,683,368
	座位保持装置	17	3,876,565
	補聴器	1	8,488
	車いす	12	2,736,675
	座位保持いす	3	231,800
	歩行器	0	0
	歩行補助つえ	1	15,091
	小 計	105	12,551,987
成 人	義 肢	2	1,040,008
	装 具	43	3,030,481
	座位保持装置	12	1,340,068
	盲人安全つえ	3	11,285
	眼 鏡	9	163,714
	補聴器	31	1,434,592
	車いす	28	3,059,708
	電動車いす	6	1,459,712
歩行器	3	100,820	
小 計	137	11,640,388	
合 計	242	24,192,375	

(3) 重症心身障害児（者）通所事業費

実人数	金額（円）
17	36,568,420

(4) 療養介護医療費

実人数	入院（人）	通院（人）	調剤（人）	金額（円）
7	7	0	0	6,495,941

(5) 高額障害福祉サービス費

実人数	助成額（円）
42	712,942

(6) グループホーム等家賃助成

実人数	助成額（円）
57	7,224,000

2 障害児施設給付事業

区 分	サービス名	延べ件数	延べ日数	金額（円）
障害児通所給付費	児童発達支援	330	2,035	19,397,830
	放課後等デイサービス	2,055	15,192	149,928,309
小 計		2,385	17,227	169,326,139
障害児相談支援給付費	障害児相談支援	239	0	3,917,722
合 計		2,624	17,227	173,243,861

3 地域生活支援事業

(1) 移動支援費

延べ件数	金額（円）
1,949	61,776,672

(2) 日中一時支援費

延べ件数	金額（円）
87	1,060,980

(3) 日常生活用具給付費

種目	延べ件数	金額（円）
ストマ装具	1,549	15,059,727
紙おむつ	144	1,651,200
その他	34	2,411,619
合 計	1,727	19,122,546

(4) 福祉ホーム運営費助成

実人数	金額（円）
5	1,242,000

(5) 精神障害者社会復帰事業

ア 精神障害者地域活動支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額（円）
精神障害者地域生活支援センター フレ	あきる野市二宮670番地5 秋川健康会館2階	23,340,000

イ 地域活動支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額（円）
秋川虹の家	あきる野市油平247-1	4,820,000

4 自立支援医療費

(1) 更生医療給付費

実人数	入院（人）	通院（人）	調剤（人）	金額（円）
32	9	17	6	40,954,071

(2) 育成医療給付費

実人数	入院 (人)	通院 (人)	調剤 (人)	金額 (円)
12	5	7	0	673,283

5 障がい者就労・生活支援センター運営委託の状況

施設の名称	施設の所在地	委託金額 (円)
障がい者就労・生活支援センター あすく	あきる野市二宮670番地5 秋川健康会館1階	22,835,000

障がい者支援課 障がい者相談係

1 障害者手帳に関する状況

(1) 身体障害者手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更新	再交付	住所変更	氏名変更	返還	合計
件数	144	28	26	89	7	172	466

(2) 身体障害者手帳所持者数（平成29年3月31日現在）（単位：人）

障害区分	等級						合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
肢体不自由	282	248	229	341	84	69	1,253
聴覚言語等障害	28	64	41	47		59	239
視覚障害	51	46	7	11	25	5	145
内部障害	492	16	62	155			725
合計	853	374	339	554	109	133	2,362

(3) 愛の手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更新	再交付	住所変更	氏名変更	返還	合計
件数	35	24	14	27	8	28	136

(4) 愛の手帳所持者数（平成29年3月31日現在）

程度	1度	2度	3度	4度	合計
人数	23	150	171	330	674

(5) 精神障害者保健福祉手帳交付等申請（届）の状況

区分	新規交付	更新	等級変更	記載事項変更	再交付	合計
件数	85	216	4	33	3	341

(6) 精神障害者保健福祉手帳所持者数（平成29年3月31日現在）

等級	1級	2級	3級	合計
人数	42	316	218	576

2 障害福祉サービス及び障害児通所支援に関すること

(1) 障害福祉サービスの支給決定の状況（平成29年3月31日現在）

受給者証交付者数549人（うち児童68人）（単位：人）

	成人	児童	合計
身体介護	26	10	36
家事援助	65	0	65
通院介助	30	1	31
重度訪問介護	6	0	6
同行援護	21	0	21
行動援護	4	5	9
短期入所	131	67	198
生活介護	143	0	143
施設入所支援	55	0	55
グループホーム	90	0	90
就労継続支援A型	6	0	6
就労継続支援B型	182	0	182
就労移行支援	20	0	20
自立訓練	8	0	8
療養介護	7	0	7

	成人	児童	合計
計画相談支援	447	70	517

※ サービスの重複利用を含む。

(2) 障害児通所支援によるサービスの給付決定の状況（平成29年3月31日現在）

受給者証交付者数 167人

（単位：人）

	身体障がい児	知的障がい児	精神障がい児	合計
児童発達支援	11	7	18	36
放課後等デイサービス	27	94	28	149
障害児相談支援	38	101	45	184

※ 障害種別の重複を含む。

3 地域生活支援事業に関すること

(1) 重度心身障害者（児）日常生活用具給付等事業の状況

在宅の重度の心身障がい者（児）に対して、日常生活の便宜を図るため、用具を給付した。

	給付決定者実人数
ストマ装具	146
紙おむつ	12
その他	34

(2) 手話の普及等に関すること

ア 手話通訳者等派遣事業の状況

聴覚、音声機能又は言語機能の障害により、家庭生活及び社会生活を営む上で支障がある場合に手話通訳者を派遣した。

	利用実人数	利用回数	延べ時間数	金額（円）
要約筆記	0	0	0時間00分	0
手話通訳（社会福祉協議会・東京都手話通訳者等派遣センター）	5	23	66時間14分	192,000
合計	5	23	66時間14分	192,000

イ 手話通訳者に対する研修会

研修回数	金額（円）
2	66,964

ウ 手話奉仕員養成講座

手話通訳士・東京都認定登録手話通訳者の講師を招き、手話の入門・基礎を学ぶこと通じて手話の普及を図るとともに、手話奉仕員の養成を図った。

期間	実施回数	1回当たりの時間	受講生数(人)
平成28年5月14日から 平成29年3月18日まで（通年）	45	2時間	42

(3) 移動支援事業及びその他の事業の給付決定状況

受給者証交付者数 314人（うち児童91人）

（単位：人）

	移動支援事業	日中一時支援事業	合計
身体障がい者	81	12	93
知的障がい者	169	22	191
精神障がい者	18	0	18
児童	90	10	100
合計	358	44	402

※ 障害種別及び給付事業の重複を含む。

(4) 自動車運転教習費助成事業の状況

心身障がい者の社会参加を促進するため、自動車運転免許取得経費の一部を助成した。

給付件数	給付金額(円)
3	494,400

(5) 自動車改造費助成事業の状況

重度身体障がい者の社会復帰の促進を図るため、重度身体障がい者が就労等に伴い自動車を取得する場合、自動車の改造に要する費用の一部を助成した。

給付件数	給付金額(円)
1	86,500

4 重度身体障害者(児)住宅設備改善費給付事業の状況

在宅の重度の身体障がい者(児)に対して、日常生活の利便を図るための住宅設備改善に要する費用を助成した。

給付件数	給付金額(円)
1	450,000

5 精神保健福祉に関する個別援助の状況

	居宅生活支援事業等の利用に関する相談		精神保健福祉相談		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
来所	18	24	28	87	46	111
電話	2	3	56	181	58	184
訪問	4	6	19	45	23	51
関係機関連絡	8	37	153	836	161	873
合計	32	70	256	1,149	288	1,219

6 医療費助成に関すること

(1) 心身障害者医療費助成の状況

受給者の状況 (平成29年3月31日現在) (単位:人)

加入保険種別	受給者数	住民税非課税者(再掲)
国民健康保険	403	340
社会保険	232	150
後期高齢	111	111
合計	746	601

(2) 障害者医療費助成の状況

ア 自立支援医療費(精神通院)支給認定申請の状況

在宅の精神障がい者に対し適正な医療を普及するため、通院医療費の補助を行った。

(ア) 自立支援医療費(精神通院)支給認定者数 1,186人

(イ) 自立支援医療費(精神通院)申請件数

区分	新規承認	更新・再開	追加交付	認定内容変更	他道府県転入	記載事項変更	合計
件数	135	1,087	36	244	10	260	1,772

イ 自立支援医療費(更生医療)支給認定申請の状況

身体障がい者に対して、障害を除去又は軽減し、日常生活能力、職業能力を回復、獲得させるための医療を給付した。

区 分	給付決定実人数
腎 臓 機 能 障 害	19
免 疫 機 能 障 害	5
聴覚・音声言語機能障害	1
合 計	25

ウ 自立支援医療（育成医療）支給認定申請の状況

身体障がい児や将来障害を残すと認められる疾患がある児童に対して、障害を除去又は軽減し、日常生活能力を回復、獲得させるための医療を給付した。

区 分	給付決定実人数
肢 体 不 自 由	2
聴覚・平衡機能障害	1
音声・言語・そしゃく機能障害	7
心 臓 機 能 障 害	2
合 計	12

エ 小児精神障害者入院医療費助成の状況

区分	新規申請	継続申請	記載事項変更	合計
件数	2	0	0	2

7 難病医療費等助成、難病患者支援事業

(1) 難病医療費等助成申請の状況

区分	新規	更新	変更届	再交付	重症申請	その他	返 還	合計
件数	154	756	104	16	0	0	215	1,245

(2) 対象者数（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

分 類	病 名	対象者数
神経・筋疾患	パーキンソン病	92
	その他（18病）	88
免疫系疾患	全身性エリテマトーデス	45
	その他（12疾病）	57
消化器系疾患	潰瘍性大腸炎	107
	その他（3疾病）	44
視覚系疾患	網膜色素変性症	21
血液系疾患	特発性血小板減少性紫斑病 その他（2疾病）	15
内分泌系疾患	下垂体前葉機能低下症 その他（3疾病）	21
呼吸器系疾患	サルコイドーシス その他（3疾病）	20
皮膚・結合組織疾患	全身性強皮症 その他（4疾病）	18
骨・関節系疾患	後縦靭帯骨化症 その他（2疾病）	34
循環器系疾患等	特発性拡張型心筋症 その他（6疾病）	26
東京都単独の対象疾病	ネフローゼ症候群（IgA腎症を除く。） その他（9疾病）	15
特殊医療	人工透析を必要とする腎不全	152
	先天性血液凝固因子欠乏症等	4
合計	75疾病	759

(3) B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度申請の状況

対象治療法	実人数
B・C型ウイルス肝炎インターフェロン	0
B型ウイルス肝炎核酸アナログ製剤	38
C型ウイルス肝炎インターフェロンフリー	40
合計	78

(4) 難病患者支援事業利用状況

支援内容	実人数
難病医療費助成申請時の面談	193
難病療養・生活相談	33
家庭等訪問相談	4
就労相談	2
合計	232

(5) 難病講演会

「パーキンソン病を理解しよう ～パーキンソン病の基礎知識と最新医療情報～」

講師 大山 彦光 先生（順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科 准教授）

開催日 平成29年3月13日 参加者数 81人

8 精神障害者地域活動支援センター事業

精神障がい者の日常生活の支援、家族も含めた相談支援、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の社会復帰、自立と社会参加の促進を図った。登録者数 164人

(1) 相談支援事業

	居宅生活支援事業等の利用に関する相談		精神保健福祉相談		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
来 所	118	477	94	431	212	908
電 話	251	3,560	89	581	340	4,141
訪 問	5	88	5	20	10	108
関係機関連絡	66	1,337	29	279	95	1,616
そ の 他	69	409	62	497	131	906
合計	509	5,871	279	1,808	788	7,679

(2) 地域活動支援センター活動詳細

内 容	実施回数	利用者数(人)
グループ活動	102	710 (1回平均 7.0)
生産活動	241	3,346 (1回平均13.9)
オープンスペース	295	2,062 (1日平均 7.0)

開所日数	297	6,118 (1日平均20.6)
------	-----	------------------

9 手当支給の状況

心身障害者福祉手当・特別障害者手当等の支給状況

手当の名称	延べ支給人数	支給額（円）
心身障害者福祉手当	19,311	211,371,000
特別障害者手当	950	25,455,740
障害児福祉手当	481	7,013,120
経過的福祉手当	12	174,960
合計	20,754	244,014,820

10 各種助成事業の状況

(1) 心身障害者（児）交通費等助成金支給事業の状況

心身障がい者（児）の通院及び生活圏拡大のために利用する電車、バス、タクシー等の運賃及び自家用車のガソリン等の燃料費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し福祉の向上を図った。（1人当たり月額 2,400円）

延べ支給人数	支給額（円）
18,352	44,044,800

(2) 心身障害者（児）おむつ等給付事業の状況

心身障がい者（児）に対し、おむつ代の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し福祉の向上を図った。（1人当たり月額上限5,000円）

延べ支給人数	支給額（円）
917	4,121,890

(3) 心身障害者（児）水道料金助成事業の状況

心身障がい者（児）を有する世帯に対し、水道料の基本料金を助成し、経済的負担の軽減と生活の安定及び福祉の向上を図った。（年2回支給）

延べ助成世帯数	助成額（円）
107	678,540

11 重度脳性麻痺者介護事業の状況

重度の脳性麻痺者を介護し、生活圏の拡大を図るための援助を行い、重度脳性麻痺者の福祉の増進を図った。

実介護人数	延べ介護人数	延べ介護日数	介護人手当額（円）
7	82	984	6,455,040

12 重度心身障害者（児）入浴サービス事業の状況

家庭において入浴することが困難な重度心身障がい者（児）に契約施設において入浴サービスを行うことにより、重度心身障がい者（児）の身体の清潔を保つとともに、家族の介護及び経済的負担の軽減を図った。（利用料4,500円、自己負担額500円）

実施施設	延べ利用人数	事業委託費（円）
あすなろみんなの家	563	2,533,500
福楽園	92	414,000
西多摩療育支援センター	176	792,000
合計	831	3,739,500

13 訪問入浴サービス

自宅の浴槽及び施設での入浴が困難な在宅の重度身体障害者（児）及び難病患者に対し、訪問入浴サービスに要する費用を支給することにより、身体の清潔を保つとともに、家族の介護及び経済的負担の軽減を図った。（利用料 11,106 円、自己負担額 1,234 円）

利用者数（人）	利用回数	事業委託料（円）
1	99	1,099,494

14 身体・知的障害者相談員の活動状況

相談内容	件数
養育に関すること	1
家族関係に関すること	1
施設等の入所等に関すること	2
サービス利用に関すること	2
合計	6

15 あきる野市障がい者就労・生活支援センター「あすく」

(1) 障がい者就労・生活支援センター事業

ハローワーク等関係機関と連携し、求職活動の同行・職場見学や面接の同行・会社や家庭との連携・各種事務手続等の支援を行った。安定した生活を送るため、在宅の障がい者に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援、カウンセリング、介護相談及び情報提供等を行った。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談 (件)	電話	175	180	183	148	138	141	157	165	142	130	151	115	1,825
	来訪	75	67	62	67	70	71	84	58	74	63	89	72	852
	訪問	78	73	62	57	71	48	68	63	55	61	51	70	757
問合せ (件)	電話	29	26	27	22	16	14	14	25	20	32	27	24	276
	来訪	54	23	30	40	35	28	29	25	21	30	20	27	362
	訪問	1	2	1	0	3	5	5	1	1	1	1	12	33
合計(件)		412	371	365	334	333	307	357	337	313	317	339	320	4,105
来訪者数(人)		282	159	178	209	240	193	150	110	177	144	141	189	2,172

(2) 障がい者職場体験実習事業

企業等への就労を希望する障がい者に対し、あきる野市役所及びあきる野市の施設において、職場体験の実習の機会を提供することにより、障がい者の就労に対する意欲を高め、自立した生活と社会参加の促進を図ることを目的とし実施した。

新規事業として平成29年1月から実施し、毎月実習生2人に対し、5日間の実習を行った。

実施月	実習人数
1月	2
2月	2
3月	2
合計	6

16 介護給付費等支給審査の状況

(1) 介護給付費等支給審査会開催の状況

審査会委員人数	年間開催回数	審査件数
5	12	124

(2) 障害支援区分認定者の状況

(単位：人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
身体障がい者	0	5	6	4	4	10	29
知的障がい者	1	9	10	24	16	21	81
精神障がい者	0	10	4	0	0	0	14
難病患者	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	24	20	28	20	31	124

17 地域自立支援協議会

(1) 活動内容

障害の有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現のため、地域の課題を整理しながら、基盤の整備・推進を図り、課題の解決に向けた協議の場とし、以下の活動を行った。

- ア 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立性及び公平性の確保と事業評価
- イ 個別支援事例への対応の在り方に関する協議と調整
- ウ 障害福祉計画の進行管理、評価等と具体化に向けた協議
- エ 地域の関係機関によるネットワークの構築等に向けた協議
- オ 地域の社会資源の開発・改善に向けた協議

(2) 全体会、各部会、プロジェクトチーム等の活動状況

名称	開催回数	主な内容
全体会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度あきる野市地域自立支援協議会事業報告 ・平成27年度指定相談支援事業者事業報告等 ・平成28年度指定相談支援事業者事業計画報告 ・平成28年度あきる野市地域自立支援協議会各部会・プロジェクトチームの活動報告 ・平成29年度あきる野市地域自立支援協議会事業計画（案）
就労日中活動部会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・あきる野夏祭り、産業祭出店について ・就労状況報告（ハローワーク青梅、都立あきる野学園） ・その他、意見・情報交換
子ども支援部会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法について ・障がい者の防災対策について ・その他、意見・情報交換
地域生活支援部会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の高齢化について ・その他、意見・情報交換
相談支援部会	6	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討 ・その他、意見・情報交換
保健医療部会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい者児等への医療提供体制について ・その他、意見・情報交換
当事者家族部会	3	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法について ・その他、意見・情報交換
権利擁護部会	4	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止について ・障害者虐待防止マニュアルについて ・その他、意見・情報交換
若手従事者交流促進プロジェクト	4	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所発表会開催について ・事業所発表会（法人の概要、サービス提供内容、利用者層等） ・その他、意見・情報交換
全体研修	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害者差別解消法と共生社会の実現」 ・講師 佐藤久夫氏（NPO法人日本障害者協議会理事） 参加者49人

18 障害者虐待防止センター事業

障害者虐待防止法の規定に基づき、市及びあきる野市障害者虐待防止センターにおいて、障害者虐待の防止及び養護者に対する支援を実施した。

(1) 虐待通報件数 3件

(2) 虐待の種類別件数

虐待の種類（通報内容による）	件数
養護者からの虐待	2
福祉従事者等からの虐待	1
使用者からの虐待	0
合計	3

(3) 虐待の内容別件数

虐待の内容（通報内容による）	件数
身体的虐待	1
性的虐待	0
心理的虐待	0
放棄・放置	2
経済的虐待	1
合計	4

※ (2) 虐待の種類別件数に対する虐待の内容（重複有り）

(4) 虐待通報への対応状況

対応内容	件数
コア会議の開催	4
訪問	8
来所相談	0
他機関通報	1
合計	13

19 障がい者福祉計画推進委員会

当市における障がい者施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画として、障害者基本法第11条第3項に基づく「市町村障害者計画」と障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条第1項に基づく「市町村障害福祉計画」の2つの計画を一体的なものとして平成27年3月に策定した「あきる野市障がい者福祉計画」の推進等について協議を行った。

(1) 委員数 11人

(2) 開催状況

回	開催日	主な内容
第1回	平成28年 4月19日	平成28年度の障害施策の取組について など
第2回	平成28年10月31日	障がい者就労、重症心身障がい者等の現状・課題について など
第3回	平成29年 3月 6日	あきる野市障がい者福祉計画の推進状況と今後の課題・意見について など

20 障害者ふれあいスポーツ交流事業

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ活動への参加促進と気運醸成、東日本大震災を踏まえた防災意識の醸成等を図ることを目的として、障がい者と子どもたちが防災とスポーツを一体的に体験できるイベント「あきる野市障がい者防災・スポーツフェア2016」

を開催した。

(1) 日時 平成28年9月24日 午前9時30分から午後2時まで

(2) 場所 都立秋留台公園、秋川体育館

(雨天予報であったため、都立秋留台公園陸上競技場で実施予定であった防災運動会及びスポーツエリアを秋川体育館内において実施)

(3) 協力機関・団体 13団体

(4) 参加者 3,000人

21 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障がい者やその家族等に対し、適切な支援を提供するとともに、高次脳機能障害に対する正しい理解の促進を図るため、周知・啓発を行った。

高次脳機能障害教室

回	開催日	テーマ	講師	参加人数
第1回	平成28年12月10日	交通事故や脳卒中の後遺症、高次脳機能障害を知っていますか？	長谷川 幹 先生 (三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)	39
第2回	平成29年 3月27日	高次脳機能障害～その理解と対応～	水柿 美恵子 先生 (東京都心身障害者福祉センター作業療法士)	19

高齢者支援課 高齢者支援係

1 在宅サービスセンターの指定管理者による管理

指定管理者 医療法人財団暁

指定期間 平成25年4月1日～平成30年3月31日

施設名称	指定管理委託料 (円)	延べ利用者数 (人)	
		高齢者生きがい活動支援通所事業	げんき応援事業
萩野センター	14,217,000	3,081	2,853
開戸センター	13,307,000	3,118	2,708
五日市センター	13,927,000	2,623	2,362

2 高齢者福祉電話事業

高齢者の日常生活上の不安感、孤独感の解消や安否確認のために、電話の貸与及び維持費（基本料金等）の助成をした。

(1) 貸与数

月	貸与(世帯)	保管(台)	月	貸与(世帯)	保管(台)	月	貸与(世帯)	保管(台)
4	11	5	8	8	8	12	8	8
5	8	8	9	8	8	1	8	8
6	8	8	10	9	7	2	8	8
7	8	8	11	9	7	3	7	9

(2) 定額料金等の維持費助成件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	115	114	111	114	112	112	110	110	110	109	109	107	1,333

3 敬老の日事業

(1) 町内会・自治会敬老行事推進事業助成

町内会等が主催した敬老行事に要する経費の一部を補助した。

ア 交付町内会等 85団体

イ 補助額 8,774,910円

(2) 100歳到達者に祝辞と記念品贈呈

100歳に到達した方に敬意と感謝を表し、祝辞と1万円相当の記念品を贈呈した。

対象者数 20人

(3) 最高齢者に祝辞と祝い金贈呈

市内に居住する最高齢者の女性、男性の在宅最高齢者に祝辞と祝い金（各1万円）を贈呈した。

4 高齢者クラブ活動助成事業

老後の生活を健全で豊かなものにし、高齢者の福祉の増進に資することを目的として活動している高齢者クラブに運営費を助成した。

(1) クラブ数、会員数等（平成28年4月1日現在）

ア クラブ数 46クラブ

イ 会員数 3,262人（補助対象人数3,261人）

ウ 補助額 13,952,250円

(2) 高齢者クラブ連合会補助

補助額 2, 223, 000円

5 高齢者配食サービス事業

居宅において調理が困難な高齢者に対し、定期的に訪問して栄養のバランスのとれた昼食を提供するとともに、安否の確認を行った。

(1) 延べ配食数 14, 648人

(2) 延べ利用者数 1, 102人

6 高齢者緊急通報システム事業（平成29年3月31日現在）

65歳以上のひとり暮らし等の高齢者で、慢性疾患等のため常時注意が必要な方に、緊急通報機器を貸与し、生活の安全の確保を図った。

(1) 消防通報世帯数 9世帯

(2) 消防通報の協力員 18人

(3) 民間通報世帯数 116世帯

7 高齢者おむつ等給付事業

65歳以上で、おむつ等を使用している要支援1から要介護5までの方に、月額5, 000円の現金助成及び月額5, 000円を限度としておむつの現物を給付した。（ただし、介護保険法上の施設サービス利用者を除く。）

(1) 現金支給

ア 延べ人数 3人

イ 助成額 60, 000円

(2) 現物給付

ア 延べ人数 6, 461人

イ 助成額 27, 330, 940円

8 高齢者自立支援住宅改修給付事業

高齢者の居住する住宅の改修を給付することにより、在宅生活における日常動作の容易性、行動範囲の拡大の確保等を図った。

(1) 手すりの取付け 5件

給付額 386, 625円

(2) 浴槽の取替え及び給湯設備の改修等 3件

給付額 909, 600円

(3) 流し及び洗面台の取替え等 1件

給付額 124, 800円

(4) 便器の洋式化等 1件

給付額 84, 800円

9 高齢者自立支援日常生活用具給付事業

高齢者に対し、自立した生活の確保や日常生活の便宜を図り、安心して在宅生活を送ることがで

きるよう日常生活用具を給付した。

- (1) 自動消火装置 1件
給付額 23,500円
- (2) 電磁調理器 1件
給付額 19,226円

10 水道料助成事業

高齢者世帯に対し、水道料の基本料金を助成することにより、経済的負担の軽減と生活の安定を図った。

- (1) 助成延べ世帯数 2,059世帯
- (2) 助成額 2,178,433円

11 高齢者見守り事業

高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の方や配達業者等による見守りを実施した。

- (1) 申請による見守り事業

地域別利用世帯数

(平成29年3月31日現在)

事業名	東秋留	多西	西秋留	増戸	五日市	戸倉	小宮	合計
地域見守り	32	12	10	7	7	0	1	69
乳酸菌飲料配達見守り	40	11	20	11	8	0	1	91
新聞配達見守り	30	12	23	10	10	1	2	88
郵便配達見守り	30	20	19	11	11	1	2	94
一般廃棄物収集見守り	24	16	13	10	7	1	0	71
合計	156	71	85	49	43	3	6	413

- (2) 各事業者の業務の範囲内における緩やかな見守り事業

協力事業者数 26事業者 (平成29年3月31日現在)

12 小宮ふれあい交流事業

小宮地区在住の高齢者が小宮ふるさと自然体験学校(旧小宮小学校)を利用し、交流事業を通じて、いつまでも地域で元気に生活し続けられることを目的に事業を実施した。

- (1) 実施回数 48回
- (2) 延べ参加者数 646人
- (3) 医師による健康相談 3回
- (4) 歯科医師による歯科口腔相談 3回

13 福祉サービス総合支援事業及び成年後見活用あんしん生活創造事業

福祉サービスの利用者等の相談、苦情対応、支援等を実施することにより、福祉サービスの利用者等が安心して適切な福祉サービスを選択し、利用できるよう支援を行った。

- (1) 利用者サポート(原則として月～金に相談員を設置し、相談及び対応した。)
相談対象者数 70人 延べ対応件数 571件
- (2) 専門相談の実施(司法書士による専門相談を行った。) 6回 14件
- (3) 成年後見活用あんしん生活創造事業 30件

- (4) 成年後見人等の支援（親族後見人等研修会を行った。） 2回 65人
- (5) 地域ネットワークの活用（地域の関係者や関係機関との連携を図った。）
- (6) 運営委員会の開催 2回

14 老人保護措置事業

- (1) 老人福祉法第11条に基づく措置状況（平成29年3月31日現在）

養護老人ホーム等

施設名	措置人員（人）
松 楓 園	2
万世敬老園	2
聖明園曙荘	1
やむを得ない措置	0
合 計	5

- (2) 老人福祉法第11条に基づく老人ホーム入所者の措置費支払状況

区 分	施設数	延人数	支払額（円）
養護老人ホーム	3	71	12,325,797
特別養護老人ホーム	0	0	0

- (3) 老人福祉法第28条及びあきる野市老人福祉法施行細則第7条に基づく費用徴収額の状況
養護老人ホーム（現年度分）

（費用徴収額については、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの分）

区 分	延べ人数	調定額（円）	過年度収入未済分 調定額（円）	収入額（円）
被措置者	60	3,632,800	0	3,632,800

- (4) 入所判定委員会

委員会開催 1回

15 在宅介護支援センター事業

保健福祉サービスの利用調整や在宅介護の総合的な相談を行うことにより、介護者等の福祉の向上を図った。

在宅介護支援センター和敬園（平成11年4月1日開設）

相 談 件 数				相 談 者 数（人）					
電話	来庁	訪問	合計	本人	家族	関係機関	その他		
27	6	80	113	74	11	25	11		
相 談 内 容（件）									
介護保険	福祉サービス	虐待	権利擁護	医療	生活年金	病状	家族	近隣	その他
6	2	1	0	4	0	9	3	2	94

16 地域包括支援センター事業

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的に、市内2か所に設置し、介護予防の拠点として、高齢者本人や家族からの相談に対応し、介護、福祉、医療、虐待防止などの必要な支援を継続的に行った。

(1) 施設名及び担当地域等

センター名	担当地域					運営事業者
高齢者はつらつセンター	雨間野辺 小川 小川東 二宮	二宮東 平沢 平沢東 平沢西 切欠	草花 菅生 瀬戸岡 原小宮 引田	淵上 上代継 下代継 牛沼 油平	秋川 秋留	医療法人財団暁
センター名	担当地域					運営事業者
五日市はつらつセンター	山田 上ノ台 網代 伊奈	横沢 三内 五日市 小中野	小和田 留原 高尾 館谷	入野 深沢 戸倉 乙津	養沢 小峰台 館谷台	社会福祉法人 あきる野市社会福祉協議会

(2) 総合相談事業

主に、介護保険、福祉サービス、虐待、権利擁護、医療、生活、年金、病状、家族、近隣に関することなどの相談に応じた。

(単位：件)

施設名	来所	電話	訪問	合計
高齢者はつらつセンター	316	2,713	488	3,517
五日市はつらつセンター	415	1,704	236	2,355
合計	731	4,417	724	5,872

(3) 権利擁護事業

項目	高齢者はつらつセンター	五日市はつらつセンター	合計
高齢者虐待と捉えた人数	1	2	3
成年後見に関する相談件数	2	7	9
消費者被害防止に関する相談件数	4	3	7
高齢者専門法律相談会の実施		年6回	13人
権利擁護に関する研修会等の実施		1回	34人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

ア 包括的・継続的なケア体制の構築

高齢者クラブ理事会・民生委員協議会・ふれあい福祉委員研修会等への出席

イ 日常的個人指導・相談

(ア) 介護支援専門員からの相談 86件

(内訳) 高齢者はつらつセンター 48件、五日市はつらつセンター 38件

(イ) サービス担当者会議への参加 46件

(内訳) 高齢者はつらつセンター 36件、五日市はつらつセンター 10件

(ウ) 各種研修の開催

介護支援専門員研修会等 3回 68人参加

ウ 支援困難事例への指導・助言

(ア) 専門員相談会の開催

全12回(法律相談、こころの相談、家族相談、在宅医療相談等) 30件

(イ) 困難事例対応 21件

(内訳) 高齢者はつらつセンター 10件、五日市はつらつセンター 11件

(5) 予防給付ケアプラン作成の状況

施設名	区分	認定区分	4月1日現在 担当数(人)	委託 事業所数
高齢者はつらつセンター	委託	要支援1	15	22
		要支援2	58	
	包括	要支援1	57	
		要支援2	135	
	小計		265	
五日市はつらつセンター	委託	要支援1	9	17
		要支援2	31	
	包括	要支援1	42	
		要支援2	53	
	小計		135	
合計			400	

17 二次予防事業対象者施策

(1) 二次予防事業

(単位：人)

	高齢者はつらつ センター	五日市はつらつ センター	合計
二次予防事業決定者数	2,294	924	3,218
利用勧奨対象者数	216	99	315
介護予防事業につながった者	24	2	26
相談支援等につながった者	45	64	109

(2) 通所介護予防事業

ア はつらつ元気アップ教室

9回コースを6回、参加者53人(利用勧奨対象者含む。)

イ 整骨院による運動機能向上トレーニング

3か月1クール、利用者8人

ウ 保健師による訪問

利用者10人

18 一次予防事業対象者施策

介護予防普及啓発事業

(1) 高齢者クラブ、町内会・自治会等からの依頼により各種講座を実施した。

テーマ：介護保険・介護予防・熱中症予防など

地区	箇所数	参加人数
秋川地区	9	351
五日市地区	7	371
合計	16	722

(2) 公募型歯科予防講座「毎日の習慣でお口と身体の健康を！」17人

(3) 頭シャキッと教室

12回コースを2回、参加者45人

19 介護支援ポイント事業

高齢者がボランティア活動を通して地域に貢献することを奨励及び支援することで、健康の維持

を促進するとともに、生き生きと元気に暮らすことができる地域社会をつくることを目的に実施した。

登録者数 28人

20 地域包括支援センター運営協議会の開催状況

(1) 目的

地域包括支援センターの適切な運営並びに公正及び中立性を確保するため

(2) 委員

保健医療関係者2人、福祉関係者3人、学識経験者1人、介護保険被保険者2人、市職員1人 合計 9人

(3) 開催状況

- ア 第1回 平成28年 5月25日開催
- イ 第2回 平成28年11月 2日開催
- ウ 第3回 平成29年 3月22日開催

21 高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催状況

(1) 目的

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援を適切に実施するため、市内の関係機関、民間団体等との連携協力体制を整備する。

(2) 委員

保健医療関係者1人、福祉関係者8人、地域コミュニティ関係者1人、関係機関の職員4人、市職員1人 合計15人

(3) 開催状況

- ア 第1回 平成28年 6月 1日開催
- イ 第2回 平成28年11月 9日開催
- ウ 第3回 平成29年 2月22日開催

22 任意事業

(1) 介護教室

高齢者を介護する家族等を対象に、適切な介護知識・技術を習得してもらうことを目的に実施した。

全9回 参加者数計220人

(2) 認知症高齢者見守り事業

- ア 認知症サポーター養成講座全21回 1,435人
- イ 認知症高齢者等位置情報探索サービス事業 17人
- ウ 高齢者等見守りキーホルダー登録事業 76人

(3) 家族介護慰労金支給事業

重度要介護高齢者を介護する同居の家族に対して慰労金を支給することにより、身体的、精神的及び経済的な負担の軽減並びに重度要介護高齢者の在宅生活の継続と向上を図ることを目的に実施した。

支給件数 0件

(4) 福祉用具・住宅改修支援事業

相談、情報提供などを行うとともに、住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合の経費の助成を行う。

経費助成件数 0件

(5) 市長による成年後見審判申立て

ア 本人の判断能力が不十分であり、成年後見制度の利用が必要だが申立人となる親族がない場合等、市長による申立てを行った。

申立件数 5件

イ 市長による申立てを行った場合に、成年後見人等に対する報酬の支払が困難である者に対し、報酬の支払に係る費用の全部又は一部を助成した。

報酬費用助成 1件 216,000円

23 高齢者特殊眼鏡・コンタクトレンズ助成事業

老人性白内障のため水晶体の摘出手術を行ったが、眼内レンズ挿入術を受けられない高齢者に対し、特殊眼鏡、コンタクトレンズを購入する費用の一部を助成する。

助成件数 0件

24 農援隊事業

「ふれあい いきがい 元気なまち」健康推進事業として、おおむね65歳以上の方に淵上地区、引田地区及び五日市下田地区の農地62区画を貸し出し、健康増進を目的として農作業や周辺のウォーキングなど「ふるさと農援隊」事業を実施した。

(1) 会員数 62人(平成29年3月31日現在)

(2) 農援隊会員に対し健康増進に寄与する事業等の実施

実施日	事業内容	参加人数
平成28年12月19日	ロコモチャレンジ～運動機能と健康長寿の関係～	20

高齢者支援課 介護保険係

1 第1号被保険者の状況

(1) 第1号被保険者数 (平成29年3月31日現在) (単位:人)

区分	65歳以上75歳未満	75歳以上	合計
前年度末	11,964	9,943	21,907
今年度末	11,786	10,603	22,389
増減	-178	660	482

(2) 第1号被保険者増減内訳 (平成28年4月1日～平成29年3月31日) (単位:人)

増	転入	65歳年齢到達	その他	合計
	166	1,101	17	1,284
減	転出	死亡	その他	合計
	107	687	8	802

2 介護保険料の状況

(1) 介護保険料 (現年度分) (単位:円、人)

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
調定額	76,621,500	42,080,500	48,382,800	170,332,200	178,792,200	189,438,600
人数	3,019	1,233	1,173	3,571	2,971	2,870
区分	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階	第12段階
調定額	16,709,800	261,254,900	32,542,800	178,450,000	83,600,700	67,491,600
人数	244	3,262	396	1,800	849	605
区分	第13段階	第14段階	合計			
調定額	20,587,800	28,841,400	1,395,126,800			
人数	171	225	22,389			

※ 人数は平成29年3月31日現在

(2) 普通徴収収納状況 (単位:円)

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
調定額	12,819,800	13,112,500	14,081,700	12,211,700	12,976,800
純収入額	11,195,600	11,474,600	12,400,600	10,621,800	11,272,700
未納額	1,624,200	1,637,900	1,681,100	1,589,900	1,704,100
還付未済額	0	3,000	3,500	3,500	4,200
収納率(%)	87.33	87.51	88.06	86.98	86.87
区分	第6期	第7期	第8期	随時期	合計
調定額	14,007,000	15,012,500	17,786,400	1,675,200	113,683,600
純収入額	12,242,200	13,125,000	15,582,100	1,569,200	99,483,800
未納額	1,764,800	1,887,500	2,204,300	106,000	14,199,800
還付未済額	6,700	2,000	10,200	0	33,100
収納率(%)	87.40	87.43	87.61	93.67	87.51

区分	過年度	滞納繰越分
調定額	1,128,300	23,738,800
純収入額	852,500	2,683,850
未納額	275,800	21,054,950
還付未済額	0	0
収納率(%)	75.56	11.31

3 督促状発付状況

区分	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
件数	425	423	443	403	413
区分	第6期	第7期	第8期	随時期	合計
件数	419	408	402	24	3,360

4 催告書等発付状況

区分	催告書
件数	1,059

5 サービス受給者の状況

(1) 居宅介護（介護予防）サービス利用者数

（国保連合会現物給付平成29年3月審査分及び償還払3月支給決定分）（単位：人）

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
第1号被保険者	101	244	439	415	284	162	85	1730
第2号被保険者	2	3	12	16	11	9	5	58
合計	103	247	451	431	295	171	90	1788

(2) 地域密着型（介護予防）サービス利用者数

（国保連合会現物給付平成29年3月審査分及び償還払3月支給決定分）（単位：人）

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
第1号被保険者	1	4	89	79	66	31	17	287
第2号被保険者	0	0	2	2	3	0	1	8
合計	1	4	91	81	69	31	18	295

(3) 施設介護サービス利用者数

（国保連合会現物給付平成29年3月審査分及び償還払3月支給決定分）（単位：人）

区分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	合計
第1号被保険者	555	254	56	865
第2号被保険者	7	4	1	12
合計	562	258	57	873

※ 施設介護サービス利用者数の合計については、名寄せ後の数値となっている。

6 保険給付の状況
(1) 年間給付件数

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問サービス	500	1,382	2,632	3,253	2,343	2,221	2,155	14,486
通所サービス	946	1,963	3,233	3,304	2,489	1,028	528	13,491
短期入所サービス	2	18	150	410	675	508	210	1,973
単品サービス	1,618	3,872	6,696	7,898	5,465	3,182	1,894	30,625
福祉用具購入	14	21	47	42	37	31	12	204
住宅改修	28	36	55	39	29	23	15	225
地域密着型サービス	13	31	1,192	901	826	349	234	3,546
施設サービス	0	0	580	890	2,374	2,949	2,568	9,361
老人福祉施設	0	0	136	359	1,610	1,853	1,743	5,701
老人保健施設	0	0	444	525	722	909	471	3,071
療養型医療施設	0	0	0	6	42	187	354	589
合計	3,121	7,323	14,585	16,737	14,238	10,291	7,616	73,911

(2) 年間費用額 (単位:円)

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問サービス	8,832,325	30,390,759	80,073,661	105,536,823	90,711,413	93,913,695	109,896,490	519,355,166
通所サービス	19,509,999	79,824,285	205,347,842	269,964,793	246,385,123	113,257,153	66,011,298	1,000,300,493
短期入所サービス	59,334	529,044	8,358,023	24,732,737	53,460,860	47,583,616	19,848,702	154,572,316
単品サービス	8,584,883	28,920,250	105,263,377	135,698,799	110,074,204	98,129,787	45,371,627	532,042,927
福祉用具購入	362,464	523,340	1,331,255	1,268,106	1,240,426	1,314,397	538,044	6,578,032
住宅改修	2,846,829	3,510,885	5,536,683	2,876,381	2,040,749	2,052,834	1,618,466	20,482,827
地域密着型サービス	753,466	2,970,346	83,349,497	94,082,458	138,154,292	70,989,458	47,950,245	438,249,762
施設サービス	0	0	142,241,680	227,630,553	637,431,409	859,214,042	813,740,820	2,680,258,504
老人福祉施設	0	0	27,253,241	84,493,388	414,959,790	513,360,347	513,088,859	1,553,155,625
老人保健施設	0	0	114,988,439	141,456,374	208,069,796	278,012,815	152,889,369	895,416,793
療養型医療施設	0	0	0	1,680,791	14,401,823	67,840,880	147,762,592	231,686,086
合計	40,949,300	146,668,909	631,502,018	861,790,650	1,279,498,476	1,286,454,982	1,104,975,692	5,351,840,027

(3) 年間給付額 (単位:円)

種類	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
訪問サービス	7,852,675	27,012,105	71,124,122	93,760,597	79,525,893	83,759,496	97,932,483	460,967,371
通所サービス	17,261,183	70,714,543	182,788,371	240,516,621	219,215,217	99,841,010	58,511,069	888,848,014
短期入所サービス	49,005	475,192	7,347,613	22,059,761	46,934,801	41,876,982	17,579,188	136,322,542
単品サービス	8,309,895	27,009,615	100,567,207	127,243,514	103,146,687	90,227,903	41,881,493	498,386,314
福祉用具購入	324,055	467,308	1,181,155	1,126,682	1,104,408	1,164,153	473,295	5,841,056
住宅改修	2,514,407	3,056,152	4,869,855	2,546,336	1,824,500	1,820,699	1,433,619	18,065,568
地域密着型サービス	678,112	2,576,630	73,754,866	83,399,759	123,181,547	63,462,898	42,919,562	389,973,334
施設サービス	0	0	127,208,003	203,004,837	567,654,696	766,665,188	726,317,854	2,390,850,578
老人福祉施設	0	0	24,527,872	75,710,537	368,772,024	459,097,715	459,059,898	1,387,168,046
老人保健施設	0	0	102,680,131	125,781,591	185,921,042	247,531,667	135,929,949	797,844,380
療養型医療施設	0	0	0	1,512,709	12,961,630	60,035,806	131,328,007	205,838,152
合計	36,989,332	131,311,545	568,841,192	773,658,107	1,142,587,749	1,148,818,289	987,048,563	4,789,254,777

※ 単品サービス (福祉用具貸与、特定施設入居者生活介護、介護予防支援・介護介護支援)

7 高額介護（介護予防）サービス費の状況（平成28年度年間計）

限度額区分	世帯合算		その他		合計	
15,000円	0件	0円	6,661件	82,572,984円	6,661件	82,572,984円
24,600円	314件	3,387,970円	1,858件	10,090,877円	2,172件	13,478,847円
37,200円	449件	5,748,014円	993件	15,867,546円	1,442件	21,615,560円
44,000円	136件	2,734,460円	260件	4,556,694円	396件	7,291,154円
合計	899件	11,870,444円	9,772件	113,088,101円	10,671件	124,958,545円

8 高額医療合算介護（介護予防）サービス費（平成28年度年間計）

限度額区分	件数	給付費（円）
低所得者Ⅰ	499	13,179,558
低所得者Ⅱ	183	4,342,805
一般	36	850,678
現役並み所得者	16	563,872
合計	734	18,936,913

9 利用者負担額等減額認定関係

(1) 食費・居住費に係る負担限度額認定状況（平成29年3月31日現在）（単位：人）

利用者負担段階	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設		地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護		その他		合計	
	食費	居住費	食費	居住費	食費	居住費	食費	居住費	食費	居住費	食費	居住費
利用者負担第三段階	166	165	76	76	15	15	15	15	84	84	356	355
利用者負担第二段階	85	83	25	25	4	4	1	1	38	38	153	151
利用者負担第一段階	26	29	17	17	2	2	0	0	10	10	55	58
合計	277	277	118	118	21	21	16	16	132	132	564	564

(2) 介護老人福祉施設旧措置入所者に係る減額・免除の状況（平成29年3月31日現在）

食費特定標準負担額の減額 （通常1,380円）		利用者負担額の減額・減免 （通常1割）	
減額後の負担額	認定者数（人）	利用者負担率	認定者数（人）
650円	1	5%	0
390円	3	0～3%	1
0～300円	1	合計	1
合計	5		

(3) サービス提供事業者による利用者負担額減額の状況（平成29年3月31日現在）

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額
軽減制度事業 1人

10 第6期介護保険推進委員会

あきる野市介護保険推進委員会設置要綱に基づき、介護サービス基盤の整備や地域ケア体制の確立等の方策について進行管理及び課題を検討し、その成果を当市の介護保険事業の円滑な推進に役立てることを目的に開催した。

(1) 委員数 10人

(2) 開催状況

回	開催日	会場	主な内容
2	平成28年 6月22日	市庁舎	第2回 あきる野市介護保険推進委員会 ・介護給付費の実績について ・あきる野市における介護予防・日常生活支援総合事業について
3	9月28日	市庁舎	第3回 あきる野市介護保険推進委員会 ・地域包括支援センターの充実について
4	11月17日	市庁舎	第4回 あきる野市介護保険推進委員会 ・あきる野市介護保険推進委員会報告書(案)について

11 第7期介護保険事業計画策定委員会

介護保険法第117条第1項の規定に基づき、平成30年度から平成32年度までの第7期介護保険事業計画を策定することを目的に開催した。

(1) 委員数 16人

(2) 開催状況

回	開催日	会場	主な内容
1	平成29年 1月25日	市庁舎	第1回 あきる野市介護保険事業計画策定委員会 ・あきる野市介護保険事業計画策定委員会について ・あきる野市の保健・高齢者福祉・介護保険事業の現状について ・あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

高齢者支援課 介護認定係

1 要介護・要支援認定者の状況（平成29年3月31日現在） （単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
第1号被保険者	211	377	602	565	546	478	354	3,133
65～75歳未満	35	52	88	70	57	57	40	399
75歳以上	176	325	514	495	489	421	314	2,734
第2号被保険者	3	4	17	24	15	9	14	86
合計	214	381	619	589	561	487	368	3,219

2 要介護認定等の状況

(1) 申請受付状況（平成28年度年間計） （単位：件）

種類	新規（再掲：転入）	更新	変更	合計
件数	964 (42)	1,972	358	3,294

(2) 介護認定審査会開催の状況

ア 委員（4合議体）	20人
イ 年間開催回数	99回
ウ 審査件数	3,165件

健康課 健康づくり係

1 健康手帳の交付事業

特定健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に役立ててもらふことを目的として40歳以上の者に交付した。

交付対象者	交付数(冊)
健康教育、健康相談、地域イキイキ元気づくり事業等を受けた方	273
特定健康診査又は各種検診等を受けた方	2,355

2 健康教育事業

生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的とした。

市民の参加を得やすい地域の町内会・自治会館等を利用しながら、骨密度、体組成、足指力といった測定と保健・栄養・歯科などの健康の講話を取り入れた健康測定会など、健康づくりのきっかけづくりとして実施した。

区分	内容		実施回数	参加人数
一般	健康測定会	地域の会館における測定会	7	143
		地域イキイキ元気づくり事業における測定会	7	129
		子育て世代向け測定会	2	50
		骨密度測定会	3	201
		その他(推進委員活動やその他団体からの依頼)	7	152
	健康教室「美食健」	糖尿病予防	1	18
		高血圧症予防	1	16
		脂質異常症予防	1	34
	歯周病	歯周病予防講座		1
病態別	がん予防	がん検診会場 受動喫煙～タバコについて考えてみませんか～	5	60
その他	中学生福祉体験(御堂中学校)	車椅子体験	1	116
		高齢者疑似体験	1	118
	生涯学習コーディネーター企画講座	男性料理教室	1	17
	その他健康づくり市民推進委員活動における健康教育	健康寿命を伸ばそう 休養について	3	96
合計			41	1,188

3 健康相談事業

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を目的として実施した。体組成計(筋肉量や体脂肪を測定)や血圧測定を行い、個人の健康状態に合わせた相談を行った。また、相談後も必要に応じて、食事習慣の見直しなど生活習慣病の予防と改善を進めた。

区分	内容		実施回数	相談延べ人数
重点健康相談	歯周病	健康のつどいでの歯科相談	1	歯科 28
		保健 55		
	骨粗しょう症	骨粗しょう症検診会場	1	栄養 7

総合健康相談	定期健康相談（市役所東側ロビー及び五日市ファインプラザ）	12	保健	279
			栄養	186
	予約による個別相談や来所や電話による随時相談	延べ526	保健	320
			栄養	206
	健康のつどい	1	保健	72
			栄養	83
合計		延べ541	1,236	

4 検診・健康診査事業

がん対策は、早期発見と早期治療が重要であり、検診の受診者を増加させるため、受診環境の向上策として、複数のがん検診を同日に受けるセット検診、家族や友人と受診を行うグループ検診などを実施した。また、要精検者には、精密検査の受診を勧めた。

(1) 胃がん検診

ア 対象者 市内在住の35歳以上の者

イ 受診者数 5,044人（要精検者184人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	9月から2月まで	48
東京都がん検診センター（施設）	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター（施設）	9月から2月まで	3

(2) 肺がん検診

ア 対象者 市内在住の35歳以上の者

イ 受診者数 5,335人（要精検者55人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	9月から2月まで	48
東京都がん検診センター（施設）	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター（施設）	9月から2月まで	2

(3) 大腸がん検診

ア 対象者 市内在住の35歳以上の者

イ 受診者数 11,126人（要精検者683人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	9月から2月まで	48
東京都がん検診センター（施設）	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター（施設）	9月から2月まで	4
市内20医療機関	6月から10月まで	—

(4) 乳がん検診

ア 対象者 市内在住の30歳以上の女性

イ 受診者数 3,415人（要精検者207人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	9月から2月まで	48
東京都がん検診センター（施設）	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター（施設）	9月から2月まで	117

(5) 子宮がん検診

ア 対象者 市内在住の20歳以上の女性

イ 受診者数 3,200人（要精検者37人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	9月から2月まで	29
東京都がん検診センター（施設）	9月から2月まで	52
公立阿伎留医療センター（施設）	9月から2月まで	71
市内2医療機関	9月から2月まで	—

(6) 前立腺がん検診

ア 対象者 市内在住の50歳以上の男性

イ 受診者数 4,254人（要精検者368人）

実施場所	実施期間	実施回数
あきる野保健相談所外（検診車）	9月から2月まで	48
市内20医療機関	6月から10月まで	—

(7) 歯周病検診

ア 対象者 市内在住の40歳、50歳、60歳及び70歳の者

イ 受診者数 474人（要精検者404人）

実施場所	実施期間
市内22歯科医院	平成28年10月1日から12月24日まで

(8) 口腔がん検診

ア 対象者 市内在住の60歳以上の者

イ 受診者数 238人（要精検者7人）

実施場所	実施期間
市内23歯科医院	平成28年7月15日から9月30日まで

(9) 骨粗しょう症検診

ア 対象者 市内在住の40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳及び70歳の女性

イ 受診者数 140人（要精検者39人）

実施場所	実施期間
あきる野保健相談所	平成28年7月29日、30日

(10) 肝炎ウイルス検診

ア 対象者 40歳になる者及び41歳以上になる者で過去に市が行った肝炎ウイルス検診を受けたことがない者

イ 受診者数 40歳になる者 102人（要精検者 1人）

41歳以上になる者 663人（要精検者 3人）

実施場所	実施期間
市内20医療機関	平成28年6月1日から10月31日まで

(11) 結核検診

ア 対象者 市内在住の65歳以上の者

イ 受診者数 8,444人（要精検者 118人）

実施場所	実施期間
市内21医療機関	平成28年6月1日から10月31日まで

(12) 生活習慣病予防健康診査

ア 対象者 35歳から39歳までの者

イ 受診者数 125人

実施場所	実施期間
市内21医療機関	平成28年8月1日から10月31日まで

(13) 生活保護受給者健康診査

- ア 対象者 市内在住の40歳以上で健康保険に加入していない者
イ 受診者数 139人

実施場所	実施期間
市内21医療機関	平成28年8月1日から10月31日まで

(14) 訪問健康診査

- ア 対象者 40歳以上の在宅で寝たきり又は寝たきりに準ずる者
イ 受診者数 2人

実施場所	実施期間
市内6医療機関	平成28年6月1日から10月31日まで

(15) 特定健康診査等

- ア 特定健康診査
(ア) 対象者 40歳から74歳までの国民健康保険加入者
(イ) 対象者数 17,237人
(ウ) 受診者数 8,457人
(エ) 受診率 49.06%

実施場所	実施期間
市内21医療機関	平成28年6月1日から9月30日まで

イ 特定保健指導

- (ア) 対象者 特定健康診査受診者でメタボリックシンドローム判定の基準等により、特定保健指導の対象となった者のうち、参加申込みのあった者
(イ) 対象者数 900人
(ウ) 申込者数 138人
(エ) 参加率 15.33%

(16) 後期高齢者医療健康診査

- ア 対象者 後期高齢者医療保険加入者
イ 対象者数 9,539人
ウ 受診者数 4,711人
エ 受診率 49.39%

実施場所	実施期間
市内21医療機関	平成28年7月1日から10月31日まで

5 健康づくり推進協議会

開催日	内容
平成28年 7月20日	・第21回あきる野市健康のつどいについて ・めざせ健康あきる野21第二次計画について（策定検討委員会の設置について、第二次計画策定に伴うベースラインアンケートの実施について）
12月22日	・がん検診に関するアンケート結果について ・歯周病検診に関するアンケート結果について ・第21回あきる野市健康のつどいについて ・めざせ健康あきる野21第二次計画策定に係るベースラインアンケート調査の実施状況について
平成29年 3月23日	・平成29年度健康課事業について ・「めざせ健康あきる野21」計画策定について

6 健康づくり市民推進委員会

町内会・自治会から推薦され、市長より委嘱を受けた「健康づくり市民推進委員」が行政と市民のパイプ役として、市と協働で健康づくりの推進を図った。

(1) 会議

区 分	実施回数	出席人数
委 嘱 式	1	80
役 員 会	3	39
広報委員会	10	187
ブロック連絡会	5	106
合 計	19	412

(2) 研修会

区 分	実施回数	出席人数	
流し踊り練習	あきる野夏まつりでの流し踊り練習	1	31
基礎研修	「健康づくりはからだの血管を守ることから始めましょう！」	1	40
栄養研修	「誰かに伝えたいわくわくを探そう～あきる野市の資源を生かして～」	1	34
	「野菜を食べよう～簡単！美味しい！「常備菜」の作り方～」	1	29
地域イキイキ元気づくり事業協力者研修	「簡単にできる体操やレクリエーション」	2	102
普通救命講習会	「安心して委員会活動をするために救急時の対応を学ぶ」	1	24
合 計		7	260

(3) 行事等への参加

開催	区 分	実施回数	出席人数
市	スポーツ・レクリエーション大会	1	61
	あきる野夏まつり	1	61
御堂中学校	車椅子体験、高齢者疑似体験	2	7
合 計		4	129

(4) ブロック活動

市内を12の地域に分けたブロックごとに、健康測定会、健康に関する講習会（認知症講演会、落語で笑って健康づくり講座、体操教室など）、地域の交流会などを実施した。

開催回数	一般参加者延べ人数	推進委員延べ人数
10	332	80

(5) 町内会、自治会単位活動

各町内会・自治会において健康づくり市民推進委員が中心となり、ウォーキング、健康リズム体操、調理実習などの活動を実施した。

活動日数	一般参加者延べ人数	推進委員延べ人数
520	6,045	886

7 地域イキイキ元気づくり事業（介護保険法の地域介護予防活動支援事業を含む。）

健康づくり市民推進委員を中心に、町内会・自治会、民生・児童委員、ふれあい福祉委員などの協力を得て地域の会館などで開催した。会場では、血圧測定、体操、レクリエーション、健康座談会（時節に合った健康ワンポイントアドバイス）等楽しみながら健康づくりを実施した。

(1) 地域イキイキ元気づくり事業

地 区	名 称	実施回数	一 般 参加人数	推進委員 参加人数
雨間	雨間ふれあいサロン	9	169	38
雨間	グリーンタウンイキイキ会	12	112	0
雨間	緑の里 ☺ スマイル	9	100	40
野辺	野辺イキイキする会	11	316	41
二宮	しあわせ会	10	117	58
小川・小川東	たんぼぼグループ	5	94	19
秋留台	秋留台イキイキ元気会	6	73	12
秋川ハイツ	すこやかハイツの会	6	133	0
平沢	平沢元気になるべー会	12	129	34
大塚	大塚生涯青春くらぶ	9	36	18
上引田	シラサギ会	11	264	33
中引田	なごみ会	12	200	25
下引田	下引田ふれあいサロン	10	175	29
渕上	出雲さわやか会	12	119	23
上代継	ニコニコサロン	10	269	17
油平	油平いきいき会	11	215	43
富士見台	さくら富士見会	11	141	17
森山	もりもり元気会	11	103	0
高瀬	ニコニコぴんぴん元気クラブ	11	233	22
草花	花ノ岡健康クラブ	11	231	22
折立	折々あおう会	10	134	28
西ヶ谷戸	西ヶ谷戸いってみんな会	12	115	23
瀬戸岡	瀬戸岡よってみようかい	11	139	39
草花住宅	草花住宅いきいき会	10	102	18
全地区(秋川)	イキイキ元気づくり会	12	225	21
山田	山田のびのび会	11	203	38
網代	むらさきつつじの会	9	70	8
新宿	新宿花みずき会	10	179	10
中平	中平ほがらか会	12	173	24
北伊奈	北伊奈いーな会	8	79	16
西伊奈	楽しくゆこう会	10	124	19
森ノ下	健康クラブ「スマイル」	11	144	10
横沢	横沢仲よし会	9	73	18
三内	笑って健康+わん	11	116	21
留原	留原健康ふれあいサロン	12	207	24
中村	中村あゆみ会	10	205	10
高尾	高尾はなまるサロン	6	86	14
上館谷	いきいきホットサロン	10	115	18
小倉	小倉元気会	12	61	0
山下	山下健康づくりの会	10	106	17
戸倉東部	大桜元気会	11	75	11
戸倉東部(盆堀)	ふるさとゆずの会	11	106	11
戸倉西部(星竹)	星竹若鮎会	10	50	10
戸倉西部(城山)	城山元気会	11	167	11
落合	落合いいきいき元気かい?	10	96	9
乙津	乙津ふれあい元気会	12	161	0

軍道	若がえろう会	1 1	1 2 2	3
養沢	養沢いきいき元気会	1 1	1 4 0	1 1
全地区（五日市）	イキイキ♡元気会	1 0	1 7 9	5 1
合計	4 9 会場	5 0 2	6, 9 8 1	9 8 4

(2) 協力者研修会

「気軽に健康づくり！簡単体操・レクリエーション」

ア 対象者 事業に携わっている協力者（健康づくり市民推進委員、町内会・自治会役員、民生・児童委員、ふれあい福祉委員、高齢者クラブ等）

イ 開催日 参加者数

(ア) 第1回 平成28年12月1日 戸倉しろやまテラス体育会 37人

(イ) 第2回 平成28年12月5日 秋川体育館 小体育室 65人

延べ参加者数 102人

8 健康のつどい事業

(1) 事業の名称

第21回あきる野市健康のつどい

(2) 目的 市民一人ひとりが、いつまでも健やかで豊かな人生を送るために、健康意識の高揚と、地域全体の健康づくり活動の推進を図ることを目的として開催した。

(3) 開催日 平成28年10月15日

(4) 会場 あきる野ルピア及び秋留野広場

(5) 来場者数 延べ12, 222人

(6) 事業内容 展示、講演、測定・相談、活動発表、各種体験、薬物乱用防止啓発活動、愛の献血等

(7) 会議等

「第21回あきる野市健康のつどい運営委員会」をあきる野市健康づくり市民推進委員で組織し、企画、準備及び運営を担当した。

内容	実施回数	委員出席人数
健康のつどい理事会	6	26
健康のつどい役員会	4	94
健康のつどい発足式及び事業報告会	2	110
合計	12	230

内容	開催日	委員出席人数 (前委員含む。)
前日準備	平成28年10月14日	92
当日の運営	10月15日	94
合計		186

9 健康あきる野21計画推進事業

あきる野市健康増進計画「めざせ健康あきる野21」（以下「21計画」という。）の周知と、「ふれあい いきがい 元気なまち」の実現に向け、市民と協働で事業を実施した。

(1) めざせ健康あきる野21推進会議

毎月10日前後に、市役所において、市民ボランティア、健康づくり市民推進委員等が、21計画推進の事業内容、実施方法等を検討した。

ア 開催回数 12回

イ 21計画推進メンバー出席者数 556人

(2) 全体活動

ア 第21回あきる野市健康のつどいでの周知活動

各班の活動紹介等、めざせ健康あきる野21計画に関するPR活動を実施した。

(ア) 開催日 平成28年10月15日

(イ) 会場 あきる野ルピア (ルピアホール)

(ウ) 来場者 一般592人 21計画推進メンバー等23人

イ 活動展示会の開催

計画策定から10年目を迎え、10年間の活動をまとめたパネルを展示し、活動内容を周知した。

(ア) 開催日 平成29年1月16日～20日

(イ) 会場 本庁舎1階コミュニティーホール

(ウ) 来場者 一般348人 21計画推進メンバー等103人

ウ 10周年記念イベント「みんなで楽しく元気に！ふれあいウォークラリー」の開催

計画策定から10周年の記念イベントとして、「ふれあいウォークマップ」のコースを基に、21計画に関するクイズを解きながら歩くウォークラリー形式のウォーキングを実施して、歩くことの楽しさを伝えると同時に21計画について周知した。

(ア) 開催日 平成29年3月18日

(イ) 会場 五日市ファインプラザ及び周辺地域

(ウ) 参加者 一般153人 21計画推進メンバー等61人

(3) 各班活動

(単位：人)

区分・名称	実施回数	一般参加者数	21計画推進メンバー等	内容
ふれあいウォーク	6	595	210	健康づくりとしてウォーキングを推進し、市内各地の景観地をコースに取り入れるなど多くの市民の参加により実施した。
ウォーキング講習会	1	153	61	ウォーキングによる健康づくりをすすめるために必要な基礎知識と実技の講習会を実施した。(第78回ふれあいウォークで実施。回数及び人数は再掲)
簡単料理レシピ講習会	2	42	16	簡単料理レシピの紹介、調理実習を実施した。 紹介レシピ ごぼうとひき肉の味噌井ぶり(元気どんぶり) 場所 五日市保健センター 秋川ふれあいセンター
簡単料理レシピ「地域講習会」	2	54	12	簡単料理レシピの紹介、試食及び栄養ワンポイントを実施した。 紹介レシピ じゃがいものピザ風 チンゲン菜の梅じゃこチャーハン 場所 あきる野保健相談所 五日市地域交流センター 五日市保健センター

簡単料理レシピ 「出前講座」	6	98	31	食に関心のある団体やグループからの依頼を基に各所に出向き、簡単料理レシピの紹介や調理実習を行った。併せて栄養士による栄養・健康講座を行った。 実施団体 あきる野市健康づくり市民推進委員単 位活動（下引田町内会、上引田町内会） 児童館幼児クラブ（若竹児童館、南秋留 児童館） 環境委員会 寿大学コーラス部
イベント等での 周知	9	—	63	スポーツ・レクリエーション大会、子育て フェスティバル、夏まつり、産業祭、簡単 料理レシピ講習会、めざせ健康あきる野 21講座で、めざせ健康あきる野21計画 の周知活動を実施した。
あきる野健康川 柳の募集	1	—	17	334作品応募があり、優秀作品4作品が 受賞した。
めざせ健康あき る野21講座	1	105	3	講演テーマ「元気に長生きするための栄養 講座」 講師：阿伎留医療センター救急科部長 雅楽川 聡氏 場所 ルピアホール
ちょこっと サポート	7	50組 子56人	協力者 (サポー ター) 30人	子育て世代の事業への参加を促進するた めに、がん検診、簡単料理レシピ講習会にお いて、市民ボランティアの協力の下、お子 さんの預かりを実施した。
合計	35	1,097	443	

10 阿伎留病院企業団関係

秋川流域3か市町村で組織運営する阿伎留病院企業団の負担金（分賦金）を、3か市町村で均等割9%、人口割30%、利用割61%の率で負担した。

負担金額（年間） 879,622,000円

健康課 母子保健係

1 乳幼児健康診査

母子保健法に基づき、子どもの健やかな成長と発達及び健康増進のため、月齢や年齢に合わせて乳幼児健康診査の集団健診を実施した。未受診者には、健診の重要性を伝えるなど受診勧奨を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、乳幼児や家族の状況の把握に努めた。

(1) 3～4か月児健康診査

3か月から6か月の前日までの乳児を対象に、乳児健康診査（集団）を実施した。

対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	有所見実数 (人)	有所見延べ者数 (人)			
				精密健診	受診(治療) 勧奨	経過観察	その他
512	495	96.7	251	9	21	74	232

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月から2歳の前日までの幼児を対象に、1歳6か月児健康診査（集団）を実施した。

対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	有所見実数 (人)	内精密検査 (人)	
				対象者	受診者
602	582	96.7	184	12	11

(3) 3歳児健康診査

3歳から4歳の前日までの幼児を対象に、3歳児健康診査（集団）を実施した。

対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	有所見実数 (人)	有所見延べ者数 (人)			
				精密健診	受診(治療) 勧奨	経過観察	その他
642	628	97.8	275	35	22	148	197

2 心理相談

子どもの発達や関わりへの不安を持つ親子を対象に、子どもが個性に合った成長ができ、安心して子育てができるよう支援をするために個別相談や集団事業を実施した。 (単位：人)

3歳児経過観察健康診査（心理）					1歳6か月児経過観察健康診査（心理）				
個別相談		グループ指導（ぱんだ）			個別相談		グループ指導（こあら）		
実人員	延べ人員	開催回数	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	開催回数	実人員	延べ人員
28	60	12	24	89	47	81	12	21	96

3 妊婦健康診査（医療機関委託・個別）

妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠・出産ができる体制を確保するために妊婦健康診査（14回を限度）を実施した。 (単位：人)

回数	受診者数	異常なし	有所見実数
1回目	584	570	14
2回目	580	566	14
3回目	564	552	12
4回目	548	537	11
5回目	530	503	27
6回目	508	470	38
7回目	481	422	59
8回目	468	432	36
9回目	442	411	31

回数	受診者数	異常なし	有所見実数
10回目	424	400	24
11回目	408	355	53
12回目	367	352	15
13回目	292	282	10
14回目	198	189	9

※ 有所見実数については、有所見延べ者数

4 里帰り等妊婦健康診査受診費助成

東京都外の医療機関又は市外の助産所で妊婦健康診査を受診した方を対象に、妊婦健康診査の受診費用の負担軽減を図るために助成した。

(1) 助成人数 62人

(2) 助成件数

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
5	8	14	16	18	19	20
8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
31	35	51	50	46	33	26

5 新生児訪問（生後2か月まで）・こんにちは赤ちゃん事業（生後4か月まで）

生後4か月までの乳児のいる家庭を対象に訪問し、乳児とその保護者の心身の状況及び養育環境の把握並びに助言を行うため乳幼児家庭全戸訪問を実施した。

(単位：人)

出生者数 522	訪問数 511	訪問率 97.9%	訪問	511	新生児訪問	311
					こんにちは赤ちゃん訪問	200
			訪問時不在等	11	里帰り	4
					入院・時間が合わず	4
					拒否等	3

6 6～7か月児及び9～10か月児健康診査

6か月から8か月の前日、9か月から11か月の前日までの乳児を対象に、医療機関において健康診査（個別）を実施した。

(単位：人)

6～7か月児			9～10か月児		
受診者数	異常なし	有所見実数	受診者数	異常なし	有所見実数
489	446	43	520	465	55

7 訪問指導実施状況

妊産婦又は乳幼児の健康診査結果に基づき、助産師、保健師が訪問し、保健指導を実施した。

(単位：人)

妊婦		産婦		新生児		未熟児		その他	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
26	29	529	532	309	310	5	5	265	281

8 保健指導（健康相談）実施状況（延数）

妊婦から幼児とその保護者を対象に、専門職による相談等を実施した。（単位：人）

妊婦		産婦		乳児		幼児		その他	
面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話	面接	電話
565	6	3	141	119	158	238	30	3	3

9 育児相談

乳児から幼児とその保護者を対象に、個別に育児相談を実施した。（単位：人）

あきる野相談所（24回）		五日市保健センター（12回）		合計（36回）		
乳児	幼児	乳児	幼児	乳児	幼児	合計
408	427	135	172	543	599	1,142

10 母親学級

出産・子育てに向けて、妊婦とその家族を対象に心の準備ができ、仲間とのつながりを持って安心して子育てができるよう支援した。

(1) 母性科

平日コース（3日制）				土曜日コース	
学級数	開催日数	受講人数	受講者延べ人数	学級数	受講人数
4	12	114	224	4	88

(2) 育児科

乳幼児の成長に応じた適切な離乳食づくりを通して、食習慣の確立を支援することを目的に次の教室を実施した。

ア 乳児（離乳食の目的と進め方について、講話と試食により、乳汁から幼児食に移行するまでの基本的な知識を段階別に支援）

(ア) 離乳食教室（おおむね5～6か月の1回食）・ごっくんコース

学級数	開催日数	受講人数	受講者延べ人数
12	12	94	94

(イ) 離乳食教室（おおむね7～8か月の2回食）・もぐもぐコース

学級数	開催日数	受講人数	受講者延べ人数
6	6	28	28

(ウ) 離乳食教室（おおむね9～11か月の3回食）・かみかみコース

学級数	開催日数	受講人数	受講者延べ人数
4	4	32	32

イ 幼児（バランスのとれた幼児食や望ましいおやつ等について、講話と実習により、自立して食べることの確立に向けて、自食行動を起こし、望ましい食環境を整えることができるように支援）

離乳食教室（おおむね1歳～1歳6か月の幼児食）・ぱくぱくコース

学級数	開催日数	受講人数	受講者延べ人数
2	2	13	13

11 歯科健診等

(1) 一般及び幼児歯科健康診査

歯科医師による口腔診査と個別相談及び歯科衛生士による集団での歯みがき指導と食生活の確

認を実施した。

事業名	回数	人数	むし歯のない者 (人)	むし歯のある者 (人)
妊婦歯科健診(母親学級)	4	57	43	14
1歳6か月児健診	24	581	575	6
3歳児健診	24	626	548	78

(2) 乳幼児歯科相談

歯科健診や予防処置を継続的に行うことで乳幼児の口腔の健全な発育発達を促し、心身の健康増進を図るために実施した。

事業名	回数	人数	塗布歯数(本)
歯科健康診査	51	1,321	
予防処置(フッ化物塗布)	158	1,422	23,513

(3) 歯科健康教育

食生活とむし歯の関係、口腔清掃の正しい方法、口腔疾患の予防及び口腔機能の獲得を理解するために実施した。

事業名	回数	人数	事業名	回数	人数
むし歯予防教室	10	52	園はみがき指導	7	416
離乳食教室	14	107	乳児健康診査 (集団指導)	24	500

12 栄養指導

妊産婦や乳幼児とその保護者たちが望ましい食習慣を身に付け、健康的な子育てができるように、妊娠中の食事や離乳食のすすめ方の情報提供を集団と個別相談を通じて支援した。

妊産婦			乳幼児		
集団指導		個別栄養指導 (人)	集団指導		個別栄養指導 (人)
実施回数	延べ人員(人)		実施回数	延べ人員(人)	
8	152	2	123	1,245	478

13 乳幼児発達健診(年12回・個別)

子どもの発育・発達上の問題を抱える親子を対象に、子どもが個性に合わせて成長し、保護者が安心して子育てができるよう小児科医師による発達健診を実施した。

乳児		幼児	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
0	0	27	64

14 乳幼児経過観察健診(年12回・個別)

子どもの発育上の問題を抱える親子を対象に、子どもが健やかに成長し、保護者が安心して子育てができるよう小児科医師による経過観察健診を実施した。(単位:人)

乳児		幼児	
実人員	延べ人員	実人員	延べ人員
9	9	26	54

15 妊娠届受理件数

妊娠された方に、妊娠・出産の経過、子どもの発育状況、健康診査、予防接種等を記録する母子健康手帳や手引書、妊婦健康診査受診票、出生通知票などが入った「母と子の保健バッグ」を保健

師が面接し、交付した。

件数 591件

16 出生通知票受理件数

赤ちゃんの母子保健サービスの入り口として、出生通知票を受理した。

件数 482件

17 子育て関連情報の配信

2週間に1回程度、乳幼児の情報をメール登録者に配信した。

名称	回数	配信数(件)
るのキッズメール	13	1,072(平成29年3月22日配信現在)

18 未熟児養育医療助成

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が、指定医療機関において入院治療を受ける場合に、その治療に要する医療費を市が負担する制度

(1) 給付件数等

(単位：件)

医療券認定件数	継続協議	変更届	再交付申請
18	0	0	0

(2) 医療費助成件数及び金額

区分	件数	医療助成金額(円)		徴収金(円) C (A-B)		
				費用徴収額(円) A	食事療養費負担額(円) B	
社会保険	15	4,536,058	914,958	914,958	0食	0
国民健康保険	3	559,827	62,864	62,864	0食	0
合計	18	5,095,885	977,822	977,822	0食	0

19 健康あきる野21計画推進事業(子育て世代・ふれあい広場)

月	人数	内容	月	人数	内容
4月	14	つながろう つなげよう子育てのWa!①	10月	10	お絵かき遊び
5月	6	つながろう つなげよう子育てのWa!②	11月	26	ダンボール遊び
6月	26	食育推進班とのコラボ「じゃがいものピザ風」	12月	27	音遊び
7月	19	水あそび	1月	37	風船遊び
8月	23	新聞あそび	2月	37	骨密度測定とミニ講座②
9月	29	骨密度測定とミニ講座①	3月	29	お楽しみ会

20 東京都子ども医療費助成申請書等受理件数

小児慢性疾患医療費助成：児童福祉法第21条の5の規定により、慢性疾患にかかっていることにより長期に療養を必要とする児童等の健全な育成を図るため、東京都が実施し、市が申請等の手続処理を行った。

(単位：件)

小児慢性疾患医療費助成申請書兼同意書(新規)	小児慢性疾患医療費助成申請書兼同意書	変更届	医療券再交付申請書
10	49	11	0

健康課 予防推進係

1 予防接種法関係

予防接種法に基づき、次の定期予防接種をあきる野市医師会の協力を得て実施し、感染症の予防を図った。

未接種者に対しては、勧奨通知の送付や乳幼児健診時の指導のほか、予防接種モバイルサービスの提供をし、接種率の向上に努めた。

(1) 予防接種別実施状況

ア ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎

(ア) 対象者

1 期初回・追加 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 期初回 生後3月に達した時から生後12月に達するまでの期間

1 期追加 1 期初回接種（3回）終了後12月から18月までの間隔をおく。

(単位：人)

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初回	1回目	537	507	94.4	17委託医療機関で実施
			2回目	537	511	95.2	
			3回目	537	528	98.3	
		追加	579	550	95.0		
合 計			2,190	2,096	95.7		

イ 急性灰白髄炎

(ア) 対象者

1 期初回・追加 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 期初回 生後3月に達した時から生後12月に達するまでの期間

1 期追加 1 期初回接種（3回）終了後12月から18月までの間隔をおく。

(単位：人)

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初回	1回目	0	1	—	13委託医療機関で実施
			2回目	0	3	—	
			3回目	0	5	—	
		追加	0	18	—		
合 計			0	27	—		

ウ ジフテリア、破傷風

(ア) 対象者

2 期 11歳以上13歳未満の者

(イ) 標準的な接種期間

11歳に達した時から12歳に達するまでの期間

(単位：人)

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第2期	791	552	69.8	20委託医療機関で実施

エ 麻しん 風しん

対象者

1期 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

2期 5歳以上7歳未満の者であって、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者 (単位：人)

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	第1期	564	542	96.1	1期18、2期19委託医療機関で実施
	第2期	716	673	94.0	
合 計		1,280	1,215	94.9	

オ 日本脳炎

(ア) 対象者

1期初回・追加 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者

2期 9歳以上13歳未満の者

(イ) 標準的な接種期間

1期初回 3歳に達した時から4歳に達するまでの期間

1期追加 4歳に達した時から5歳に達するまでの期間

2期 9歳に達した時から10歳に達するまでの期間 (単位：人)

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初 回	1回目	644	611	94.9	1期18、2期20委託医療機関で実施
			2回目	644	594	92.2	
		追 加	718	486	67.7		
	第2期	745	259	34.8			
合 計			2,751	1,950	70.9		

カ 日本脳炎 (特例対象者)

対象者 平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれまでの20歳未満の未接種者 (単位：人)

接種方法	種 別		対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	第1期	初 回	1回目	1,294	82	6.3	1期18、2期20委託医療機関で実施
			2回目	1,298	81	6.2	
		追 加	1,557	176	11.3		
	第2期	2,423	176	7.3			
合 計			6,572	515	7.8		

キ 結核 (BCG)

(ア) 対象者

生後1歳に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

生後5月に達した時から生後8月に達するまでの期間 (単位：人)

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	実施日数
集団接種	537	505	94.0	23

ク Hib (ヒブ) 感染症

(ア) 対象者

生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

初回接種開始は、生後2月から生後7月に至るまで

追加接種は、初回接種終了後7月から13月までの間隔をおく。

(単位：人)

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	初 回	1 回目	5 2 7	4 9 7	9 4 . 3	1 5 委託医療機関で実施
		2 回目	5 2 7	5 0 1	9 5 . 1	
		3 回目	5 2 7	4 8 4	9 1 . 8	
	追 加	5 2 7	5 3 8	1 0 2 . 1		
合 計		2, 1 0 8	2, 0 2 0	9 5 . 8		

ケ 小児の肺炎球菌感染症

(ア) 対象者

生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

初回接種開始は、生後2月から生後7月に至るまで

追加接種は、初回接種終了後60日以上の間隔をおいて生後12月から生後15月に至るまで

(単位：人)

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考	
個別接種	初 回	1 回目	5 2 7	4 9 9	9 4 . 7	1 5 委託医療機関で実施
		2 回目	5 2 7	5 0 3	9 5 . 4	
		3 回目	5 2 7	4 8 6	9 2 . 2	
	追 加	5 2 7	5 2 7	1 0 0 . 0		
合 計		2, 1 0 8	2, 0 1 5	9 5 . 6		

コ ヒトパピローマウイルス感染症

(ア) 対象者

12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にある女子

(イ) 標準的な接種期間

13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間 (単位：人)

接種方法	種 別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	1 回目	1, 8 0 2	0	0 . 0	1 5 委託医療機関で実施
	2 回目	1, 8 0 2	1	0 . 1	
	3 回目	1, 8 0 2	0	0 . 0	
合 計		5, 4 0 6	1	0 . 0	

サ 水痘

(ア) 対象者

生後12月から生後36月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

1 回目 生後12月から生後15月に達するまで

2 回目 1回目の接種終了後6月から12月までの間隔をおく。 (単位：人)

接種方法	種 別	対象者	接種済者数	接種率(%)	備 考
個別接種	1 回目	5 6 4	5 1 7	9 1 . 7	1 6 委託医療機関で実施
	2 回目	5 6 4	4 4 7	7 9 . 3	
合 計		1, 1 2 8	9 6 4	8 5 . 5	

シ B型肝炎(平成28年10月1日から定期接種化)

(ア) 対象者

生後2月から生後12月に至るまでの間にある者

(イ) 標準的な接種期間

生後2月に至った時から生後9月に至るまで。27日以上の間隔を空けて2回接種した後、1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回接種する。(単位：人)

接種方法	種別	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備考
個別接種	1回目	530	368	69.4	14委託医療機関で実施
	2回目	530	320	60.4	
	3回目	530	87	16.4	
合計		1,590	775	48.7	

ス インフルエンザ

対象者

満65歳以上及び60歳以上65歳未満の者であって政令で定める者 (単位：人)

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備考
個別接種	23,051	9,096	39.5	158委託医療機関で実施

セ 高齢者肺炎球菌ワクチン

対象者

平成28年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者及び60歳以上65歳未満の者であって政令で定める者 (単位：人)

接種方法	対象者数	接種済者数	接種率(%)	備考
個別接種	4,625	2,587	55.9	22委託医療機関で実施

(2) 予防接種健康被害調査委員会

事故の発生がなかったため、委員会は開催しなかった。

2 任意予防接種等事業関係

あきる野市医師会の協力を得て、風しん抗体検査及び風しん予防接種を実施し、先天性風しん症候群の発生防止に努めた。

(1) 先天性風しん症候群対策風しん抗体検査事業

対象者

市内に住所を有する19歳以上の者で、妊娠を予定又は希望している女性

※ 既に風しんワクチン(混合ワクチン含む。)を2回以上受けている者又は自身で抗体検査を受け、低抗体者(HI法16倍以下、EIA法におけるEIA価8.0未満又は国際単位

①30IU/ml未満、国際単位②45IU/ml未満)と確認できる者は除く。

検査方法	受診券発行枚数	検査済者数(人)	検査率(%)	備考
個別検査	34	32	94.1	20委託医療機関で実施

(2) 先天性風しん症候群対策風しん予防接種助成事業

対象者

市内に住所を有する19歳以上の妊娠を予定又は希望している女性で、次のいずれかに該当する者

- ・風しん抗体検査を受け、低抗体者であると判明した場合
- ・妊婦健康診査で低抗体者であると判明し、出産後速やかに接種を受ける場合
- ・自身で抗体検査を受けた場合などで、低抗体者であると確認できる場合

接種方法	助成券発行枚数	検査済者数(人)	接種率(%)	備考
個別接種	28	26	92.9	20委託医療機関で実施

3 休日診療関係

(1) 医科診療

休日における急病患者的の利便を図るため、あきる野市医師会の協力を得て休日診療及び準夜診療を72日実施した。

(単位：人)

休日診療 (9:00~17:00)					準夜診療 (17:00~22:00)					合計
診療科目	内科	小児科	その他	小計	診療科目	内科	小児科	その他	小計	
受診者数	1,796	1,520	141	3,457	受診者数	422	181	127	730	4,187
1日当たり平均受診者数	25.0	21.1	2.0	48.0	1日当たり平均受診者数	5.9	2.5	1.8	10.1	58.2

(2) 歯科診療

休日における急病患者的の利便を図るため、東京都西多摩歯科医師会の協力を得て休日診療を44日実施した。

(単位：人)

休日診療 (9:00~17:00)		
診療科目	受診者数	1日当たり平均受診者数
歯科	90	2.0

4 畜犬登録事務

畜犬登録事務を次のとおり行った。

新規登録数	286件
鑑札再交付	5件
無償交付数	0件
鑑札交換数	72件
捕獲犬の拘留に関する公示	4件
引き取り、収容動物の公示	8件
登録総数 (年度末現在)	4,734頭

5 薬物乱用防止活動

健康のつどい、成人式等の会場において、パンフレット等の配布により啓発活動を行った。

東京都薬物乱用防止推進秋川地区協議会あきる野支部により、青少年の薬物乱用防止対策の一環として、中学生を対象に薬物乱用防止ポスター・標語の募集をし、応募作品の展示を行った。

標語応募数	1,038件
ポスター応募数	216件

6 エイズ予防運動

市庁舎、あきる野保健相談所及び成人式等の会場において、パンフレット等の配布により啓発活動を行った。

7 献血関係

市庁舎北側駐車場など、延べ2会場で計3日、献血を実施した。

(単位：人)

受付者数	献血者数	献 血 内 容		
165	137	200cc	400cc	成分献血
		11	126	0